

校番	81	学校名	広島工業高等学校	校長氏名	中村 充宏	☎・定・通	☎・分
----	----	-----	----------	------	-------	-------	-----

1 ミッション(地域社会における自校の使命)

1 科学技術創造立国を支える, 豊かな心を伴った工業人を育成する。 2 拠点校として工業教育の牽引的役割を果たす。
--

2 ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像)

1 夢への挑戦ができる学校 2 感性を磨き, 創造力豊かな人材を育成する学校 3 規律と礼儀を重んじ, 自立心豊かな人材を育成する学校 4 「文武両道」勉学とクラブ活動の両立する学校
--

3 環境分析

環境分析(SWOT 分析)

内部環境	S: 強み(比較優位) 1 高い知名度 2 組織力の高い同窓会 3 拠点校であり, 設備が充実 4 就職内定・進学合格 100%を達成 5 様々な能力を有する教職員が多数いる 6 学科単位の組織力(+) 7 クラブ活動活発(全国大会レベルの部活動)	W: 弱み(比較劣位) 1 自主性が乏しい生徒による問題行動 2 学力の格差 3 長欠者や休転退学者 4 進学指導が弱い 5 教職員の情報共有 6 科単位の組織力(-) 7 分掌間, 学科間の連携	
外部環境	O: 機会 1 求人者数・大学指定校数が多い 2 大学入試の工業枠がある 3 県工 OB の人脈が広い 4 交通の利便性が高い 5 資格をもっていることで重宝される 6 ものづくり人材の不足 7 外部講師を招聘しやすい	(成長, 拡大する) 1 課題発見・解決学習の推進 2 ものづくり人材の育成 3 組織的な資格取得指導 4 就職指導の強化 5 指定校向け進学指導強化 6 外部専門講師による指導体制の強化	(改善する) 1 キャリア教育の推進 2 基礎学力の定着 3 人間力の育成 4 外部講師による進路講話 5 指導者の育成
	T: 脅威 1 工業より普通科を選ぶ傾向が依然強い 2 本校志願者数低下 3 目的・意識・ねばりの乏しい生徒が入学 4 ものづくりに意欲をもつ生徒が少ない 5 高度熟練技能者大量退職 6 広島市に2つの工業高校がある	(脅威を回避しながら継続する方策を検討) 1 夢への挑戦ができる学校 2 日本における工業・ものづくりの重要性 PR 3 就職の強さ 4 充実した設備 PR 5 技能の伝承	(別な手段を検討) 1 安全・安心な学校づくりへ 2 分掌間, 学科間の連携 3 進学指導を強化 4 積極的な教育内容の公開 5 中学校との連携

4 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値			目標値	担当部等
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
1 ものづくり人材の育成						
	ジュニアマイスター認定者数	50 人	46 人	52 人	52 人	教育研究部 2学年会
ものづくりコンテスト等全国大会での入賞を目指す。	中国大会・全国大会の出場数	中国大会 6 全国大会 4	中国大会 8 全国大会 7	中国大会 9 全国大会 7	中国大会 9 全国大会 7	工業科
工業分野の有識者と連携し、実践的な知識・技術・技能を身に付ける。	社会人講師を活用した授業数	6	10	11	12	工業科
各学科が推奨する工業分野の資格を取得する。 機 械 科: 技能検定(普通旋盤2・3級, 鑄造2・3級, フライス盤作業2・3級, 機械検査作業2・3級, 機械プラント製図2・3級) 電 気 科: 第1種・第2種電気工事士 建 築 科: 建築施工管理士2級+技能検定2・3級(左官, とび, 建築大工)+建築CAD検定 土 木 科: 2級土木施工管理技術検定+測量士, 測量士補 化学工学科: 危険物取扱者	資格取得した生徒数	100 人	72 人	68 人	100 人	機械科
		87 人	99 人	108 人	100 人	電気科
		67 人	75 人	73 人	85 人	建築科
		5 人	6 人	19 人	15 人	土木科
		5 人	9 人	19 人	15 人	化学工学科
2 選ばれる学校づくり						
入学希望者の増加を目指す。	入学者選抜 I・II 平均倍率	1.24	1.28	1.33	前年以上	総務部
	運動クラブ入賞・優勝数	県大会 45 中国大会 11 全国大会 6	県大会 36 中国大会 15 全国大会 3	県大会 49 中国大会 14 全国大会 6	県大会 前年以上 中国大会 前年以上 全国大会 前年以上	
	クラブ加入状況	93.0%	91.5%	90.0%	前年以上	
3 教職員の指導力向上の推進, 教職員の意欲が高まる職場づくり						
学校全体で主体的な学びの推進し, 組織的に授業改善に努める。	研究授業の参加割合	—	50%	61%	60% 以上	教務部 教育研究部 教科・学科
	授業評価アンケートの肯定的な評価割合	—	70%	71%	80% 以上	
教職員の意欲が高まる取組を図る。	「新しいアイデア」, 「スクラップ&ビルド」に係る取組数	—	—	—	3	全分掌
4 安全・安心・清潔な学校づくり						
安全・安心・清潔な学習環境をつくる。	大掃除実施数(回/年)	12 回	12 回	12 回	12 回	保健厚生部
	年間1日平均遅刻件数(人/日)	1.33	1.37	1.00	1.20	生徒指導部 1学年会
5 生徒の進路希望を実現						
100%, 学校長推薦者・大学進学者の学力向上, 3学年生徒の進路決定率 100%を目指す。	就職試験一次合格率	94.8%	92.2%	93.4%	96.0%	進路指導部 3学年
	3 学年末 5 段階平均 3 年 1 学期 5 段階平均	<u>3.81</u> 3.97	<u>3.87</u> 4.00	<u>3.93</u> 4.02	<u>4.01</u> 4.00	

5 行動計画

学校経営目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 ものづくり人材の育成			
	<ul style="list-style-type: none"> ・LHRや資格取得ネームプレート等の掲示物での啓発 ・資格検定試験の日程一覧表を作成する。 ・各学科における2学年終了時の資格取得目標個数の設定 ・資格取得計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・学科との連携を密にし、計画的に充実した補習を展開する。 	教育研究部 2学年会
ものづくりコンテストでの入賞・優勝を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・より早期の選手候補生徒を確定し、計画的で質の高い指導を実施 ・外部講師、SETの活用 ・教職員の技術向上研修など、指導体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりセミナーに参加し、技術・技能の向上を図る。また、支援体制を確立する。 	工業科
工業分野の有識者と連携し、実践的な知識・技術・技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・熟練技能者等による生徒への指導の参観 ・熟練技能者等の教職員研修での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識・技術を持つ社会人を活用することにより、実践的な内容を学べる授業を実施する。 	工業科
各学科が推奨する工業分野の資格を取得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・熟練技能者等の教職員研修での活用 ・指導体制の整備 ・資格取得意識の向上のための啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科が推奨する資格を取得させ、専門分野の知識や技術を定着させるために、指導計画を策定し実施する。 	工業科 (各学科)
2 選ばれる学校づくり			
入学希望者の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生にわかりやすいオープンスクールの中身づくり ・学校案内(リーフレット)の作成 ・中学校訪問での中学校の教員(進路指導主事・3学年主任・技術の教員)との連携強化 ・クラブ紹介・オリエンテーション等において、クラブ加入を呼びかける。 ・クラブの成績や結果を年1回以上HPへ掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連携を進めて、中学生や中学校教員に本校の教育内容を広く知らせる。 ・本校の教育活動について、積極的な情報発信を行い、工業教育や、本校の魅力をリーフレット等を作成してPRをする。 ・生徒を積極的に部活動に加入させ、目標を持たせるとともに、部活動へのモチベーションを高める取組みを行う。 	総務部
3 教職員の指導力向上の推進、教職員の意欲が高まる職場づくり			
学校全体で主体的な学びの推進し、組織的に授業改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な研究授業テーマを提示し、全教員が実践する。 ・研究授業週間中に、全教員が他教員の授業を最低1回は見学する。 ・授業アンケート結果から生徒の学習状況を把握し、授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が、具体的な授業仮説を立てて実践し、検証する。 ・研究授業週間中に、全教員が他教員の授業を最低2回以上は見学する。 ・授業アンケート結果から生徒の学習状況を把握し、授業改善を図る。 	教務部 教育研究部 教科・学科
教職員の意欲が高まる取組を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌において、新しいアイデアを出し合い、効率的な業務につながる取組を実施する。 ・各分掌の既存の業務、取組を縮小、廃止し、新しい能率的な取組等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの慣例に捉われない新しいアイデアを提案し、効率的な業務につながる取組を行う。 ・既存の取組の縮小・廃止など、スクラップアンドビルドを行い、新たな取組を図る。 	全分掌
4 安全・安心・清潔な学校づくり			
安全・安心・清潔な学習環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の整理整頓を定期的実施(生徒の自主的な環境整備を目指す) ・生徒保健員会の充実 ・早期の学級担任、保護者との連携(生活習慣の改善) ・遅刻ゼロ週間での取り組み強化 ・生徒指導だよりの発行 ・生徒指導に係る教材の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室だけでなく、掃除場所や実習場など、生徒による環境整備を定着させる。 ・規律指導を通して、生徒の規範意識向上につなげる。 ・組織的な体制を構築し、生徒の授業に対する姿勢を向上させる。 	保健厚生部 生徒指導部 1学年会
5 生徒の進路希望を実現			
就職希望者の内定率100%、学校長推薦者・大学進学者の学力向上、3学年生徒の進路決定率100%を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題の収集と内容の分析 ・生徒への的確な情報提供 ・面接等の指導体制の改善 ・大学等の入学までのより具体的な目標設定の徹底 ・個別面談を通して学習への動機づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンスを各学年で1回実施し、意識啓発を行う。 ・オープンキャンパスの参加などにより、進路情報の提供を徹底して、意識の高揚を図る。 ・過去の生徒たちの取組状況を明らかにし、フィードバックさせる。 	進路指導部 3学年会